



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船越 義和

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部本部長 (氏名) 佐塚 真弘

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,826	△3.4	366	△34.6	496	△20.2	335	△11.4
26年3月期第2四半期	10,175	1.8	561	△6.4	622	△2.0	378	△6.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 518百万円 (△1.7%) 26年3月期第2四半期 527百万円 (44.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	12.48	—
26年3月期第2四半期	14.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	21,556	15,146	68.7
26年3月期	21,370	14,821	67.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 14,807百万円 26年3月期 14,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	4.2	850	4.9	960	△3.1	600	0.9	22.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	29,748,200 株	26年3月期	29,748,200 株
27年3月期2Q	2,890,022 株	26年3月期	2,889,839 株
27年3月期2Q	26,858,308 株	26年3月期2Q	26,884,479 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算短信のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引上げに伴う景気反動もみられたものの、政府の経済政策や金融政策の効果により、円安、株高傾向が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

この様な環境下、当社グループは、製品の安定供給を最重要課題として取り組みました。特にタイのイヌリン製造連結子会社(Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.)においては、安定的な製品供給のため、品質維持向上や現地スタッフの教育育成などに注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,826百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益366百万円(同34.6%減)、経常利益496百万円(同20.2%減)、四半期純利益335百万円(同11.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖

精糖の業績につきましては、売上高6,339百万円(前年同期比5.2%減)、営業利益585百万円(同3.6%減)となりました。売上高は、採算性重視の営業活動により、販売単価は上昇したものの、消費税率引き上げによる反動と夏場の天候不順などから菓子類や清涼飲料向けが低調な荷動きとなり、上白糖や液糖を中心に前年同期の販売数量を下回り減収となりました。利益面では、採算性重視の営業活動を行ったものの、販売数量が減少したことにより、減益となりました。

② 機能性素材

機能性素材の業績につきましては、売上高3,188百万円(前年同期比0.0%増)、営業損失144百万円(前年同期営業利益43百万円)となりました。売上高は、機能性素材全体としては前年同期並みとなりました。機能性食品素材「イヌリン」はユーザー向けの販売が思うように伸びず、前年同期並みの販売数量となりました。切花活力剤キープフラワーは花卉業界が低迷するなか、消費税率引き上げによる反動もあり、販売数量は前年同期を下回る結果となりました。連結子会社ユニテックフーズ株式会社はOEM受託の不振などにより若干ながら前年同期を下回りました。利益面では、タイの連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.において、当期に本格稼働をスタートさせたものの、安定生産までの費用が先行し営業損失となった結果、減益となりました。

③ 不動産

不動産の業績につきましては、売上高299百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益265百万円(同2.4%増)となりました。所有不動産の稼働率及び維持管理費は概ね計画どおり推移しており、安定収益として貢献いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.9%増加し、21,556百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ3.7%減少し、8,267百万円となりました。これは主に現金及び預金、原材料及び貯蔵品の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ3.9%増加し、13,289百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ8.0%減少し、3,437百万円となりました。これは主に仕入債務の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ5.7%増加し、2,972百万円となりました。これは主に長期借入金の増加及び固定負債「その他」に含まれる繰延税金負債の増加等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.2%増加し、15,146百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加及び四半期純利益計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ281百万円減少し、2,214百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、44百万円(前年同期689百万円収入)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上があったものの、仕入債務の減少及び法人税等の支払額があったこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、129百万円(前年同期比75.7%減)となりました。これは主として、長期貸付金の回収による収入があったものの、有形固定資産の取得による支出、長期貸付けによる支出等があったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、111百万円(前年同期比241.2%増)となりました。これは主として、長期借入れによる収入があったものの、配当金の支払額、長期借入金の返済による支出等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日付け公表の通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を割引率の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が73,818千円減少し、利益剰余金が47,538千円増加しております。また、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,111,695	1,843,066
受取手形及び売掛金	2,451,842	2,369,311
有価証券	385,719	372,934
商品及び製品	1,279,058	1,514,440
仕掛品	109,595	213,159
原材料及び貯蔵品	1,097,743	810,134
その他	1,152,281	1,148,013
貸倒引当金	△3,282	△3,403
流動資産合計	8,584,653	8,267,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	679,664	1,039,489
機械装置及び運搬具(純額)	158,279	1,645,041
土地	2,048,834	2,048,834
建設仮勘定	1,658,701	303
その他(純額)	91,041	107,108
有形固定資産合計	4,636,521	4,840,777
無形固定資産		
のれん	685,798	631,804
その他	99,888	92,900
無形固定資産合計	785,686	724,704
投資その他の資産		
投資有価証券	5,153,069	5,488,915
関係会社長期貸付金	1,980,852	2,011,052
その他	293,532	280,730
貸倒引当金	△64,140	△57,120
投資その他の資産合計	7,363,312	7,723,578
固定資産合計	12,785,521	13,289,060
資産合計	21,370,175	21,556,718

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,505,769	996,449
短期借入金	1,182,696	1,215,226
未払法人税等	203,136	208,671
賞与引当金	110,896	100,854
役員賞与引当金	9,100	-
その他	725,019	916,316
流動負債合計	3,736,618	3,437,518
固定負債		
長期借入金	1,551,216	1,692,005
役員退職慰労引当金	183,175	170,593
退職給付に係る負債	203,125	80,758
資産除去債務	66,603	66,916
その他	807,716	962,699
固定負債合計	2,811,837	2,972,973
負債合計	6,548,455	6,410,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,530,171	2,530,171
利益剰余金	10,016,829	10,157,759
自己株式	△714,805	△714,868
株主資本合計	13,356,655	13,497,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,020,619	1,221,078
為替換算調整勘定	77,752	106,530
退職給付に係る調整累計額	△19,219	△17,179
その他の包括利益累計額合計	1,079,152	1,310,430
少数株主持分	385,910	338,275
純資産合計	14,821,719	15,146,227
負債純資産合計	21,370,175	21,556,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,175,273	9,826,474
売上原価	7,932,862	7,880,672
売上総利益	2,242,410	1,945,801
販売費及び一般管理費	1,680,999	1,578,864
営業利益	561,410	366,937
営業外収益		
受取利息	24,213	21,821
受取配当金	27,366	31,495
為替差益	-	30,027
持分法による投資利益	20,828	40,003
その他	5,561	25,753
営業外収益合計	77,969	149,102
営業外費用		
支払利息	10,782	18,199
為替差損	3,980	-
その他	2,087	1,260
営業外費用合計	16,850	19,460
経常利益	622,529	496,578
特別利益		
投資有価証券売却益	11,540	-
特別利益合計	11,540	-
特別損失		
固定資産除却損	21	125
投資有価証券評価損	-	355
特別損失合計	21	480
税金等調整前四半期純利益	634,048	496,098
法人税、住民税及び事業税	257,395	213,831
法人税等調整額	11,490	17,673
法人税等合計	268,885	231,504
少数株主損益調整前四半期純利益	365,162	264,593
少数株主損失(△)	△13,028	△70,522
四半期純利益	378,191	335,115

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	365,162	264,593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	187,463	200,459
為替換算調整勘定	△26,070	50,858
退職給付に係る調整額	-	2,040
持分法適用会社に対する持分相当額	936	805
その他の包括利益合計	162,330	254,164
四半期包括利益	527,493	518,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	552,253	566,393
少数株主に係る四半期包括利益	△24,760	△47,635

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	634,048	496,098
減価償却費	70,021	156,374
のれん償却額	53,994	53,994
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,647	△10,042
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,090	△9,100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△46	△6,899
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△46,477	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,658	△12,582
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△45,380
受取利息及び受取配当金	△51,580	△53,317
支払利息	10,782	18,199
持分法による投資損益(△は益)	△20,828	△40,003
投資有価証券売却損益(△は益)	△11,540	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	355
固定資産除却損	21	125
売上債権の増減額(△は増加)	283,254	82,925
たな卸資産の増減額(△は増加)	230,780	△43,284
その他の流動資産の増減額(△は増加)	70,653	6,028
仕入債務の増減額(△は減少)	△248,502	△511,095
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△132,327	35,848
その他	2,067	△15,435
小計	832,242	102,809
利息及び配当金の受取額	78,935	78,924
利息の支払額	△11,554	△17,387
法人税等の支払額	△210,113	△209,083
営業活動によるキャッシュ・フロー	689,510	△44,737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△613,478	△88,233
無形固定資産の取得による支出	△6,410	△822
投資有価証券の取得による支出	△648	△650
投資有価証券の売却及び償還による収入	133,000	-
長期貸付金の回収による収入	469,327	490,027
長期貸付けによる支出	△511,676	△530,000
子会社株式の取得による支出	△3,155	-
その他	398	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△532,644	△129,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	29,200
長期借入れによる収入	366,450	172,624
長期借入金の返済による支出	△119,848	△71,348
自己株式の取得による支出	△374	△63
配当金の支払額	△268,847	△241,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,620	△111,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,393	4,315
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	119,852	△281,413
現金及び現金同等物の期首残高	2,611,571	2,495,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,731,423	2,214,001

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性素材	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,687,177	3,188,004	300,091	10,175,273	—	10,175,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,582	7,146	555	14,284	△14,284	—
計	6,693,760	3,195,150	300,646	10,189,557	△14,284	10,175,273
セグメント利益	607,126	43,898	259,553	910,579	△349,168	561,410

(注) 1 セグメント利益の調整額349,168千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性素材	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,339,046	3,188,281	299,146	9,826,474	—	9,826,474
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	827	827	△827	—
計	6,339,046	3,188,281	299,973	9,827,301	△827	9,826,474
セグメント利益又は損失(△)	585,495	△144,027	265,821	707,289	△340,352	366,937

(注) 1 セグメント利益の調整額340,352千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。